



時宗の開祖である一遍上人は、日本全国を歩き、底辺に生きる人々に触れ、かれらを救う仏教を考えました。たとえ仏様を信じていなくとも、身が穢れていようと、「南無阿弥陀仏」と唱えさえすれば誰もが成仏できる。熊野権現の神勅「信不信を選ばず、浄不浄を嫌わず」を説いています。堅苦しい経文も、苦しい修行も、きらびやかな飾りも一切要りません。ただお念仏を口ずさむだけです。

そんな一遍上人の教えをいまに伝える長福寺は、お念仏そのままの、飾らないお寺です。

時宗 古木山 長福寺

〒183-0022 東京都府中市宮西町4-18-1
TEL・FAX 042-361-3357

■ 案内地図



■ 周辺拡大地図



■ 交通案内

京王線府中駅、JR武蔵野線府中駅、南武線分倍河原駅より徒歩10分

墓所のお問い合わせは

(有) 沼尾石材店

〒183-0055 東京都府中市府中町1-28-7

TEL 042-361-2703

e-mail info@numaosekizai.co.jp

URL <http://www.numaosekizai.co.jp/>



時宗 古木山

長福寺



時宗 古木山

長福寺

古木山長福寺は、鎌倉時代より府中の街に栄えたお寺です。

「国府道場」の名称も伝えられ、境内から数多く出土している

鎌倉・南北朝・室町各時代の供養塔がその長い歴史と繁栄を

物語っています。

武蔵国の国府として政治と商業の中心を担っていた府中では

浄土系新仏教である時宗が広く信仰されていました。



長福寺住職
今井 元忠

昭和2年東京都府中市に生まれる。11歳より日用勤行を習い、13歳で法事法要を行う。昭和22年、20歳で時宗の総本山遊行寺に入り、時宗の正統を修める。昭和46年、先代(今井宗一)より長福寺住職を継ぎ、以来40年にわたり寺を守る。昭和46年、本堂改築。昭和54年、山門再建。

時宗って何ですか？

仏教はおよそ2500年前にインドでお釈迦さまによって開かれ、中国、朝鮮を経て、538年に百濟聖明王くだししょうみょうおうによって日本に伝えられたといわれています。¹

平安時代(794-1192)には、天台宗、真言宗など朝廷貴族のための国家仏教が栄え、鎌倉時代(1192-1333)には、禅宗系、浄土系、日蓮系など武士や庶民の救済のための大衆仏教が盛んになりました。

長福寺の宗派である時宗は後者の浄土系大衆仏教のひとつです。その教えに難しいことはな



本堂外観と本堂祭壇

にもありません。ただ「南無阿弥陀仏」を唱える。それだけです。

一遍上人の教えとは？

この教えを説いた宗祖の一遍上人は、1239年に伊予(愛媛県)の道後に生まれました。そのころの世の中はいまとずいぶん様子が違っていました。

治安は悪く、死病も蔓延している。生活保護も社会保障ありませんから、ひとは常に死と隣り合わせの毎日です。現世があんまり苦しいので、早くあの世で楽になりたいと願う者もあつたでしょう。

そんな世の姿を見て一遍上人は考えました。難しいことをいってもしょうがない。何万回もの読経や、深い信仰心もいらぬ。阿弥陀様が向こうから来てくださるのだから、ただお念仏を唱えればそれで救われる。

これを「信不信を問わず、浄不浄を嫌わず」といいます。信心があろうがなかろうが、心が浄らかであろうがなかろうが、お念仏さえ唱えれば、だれ彼の区別なく、皆、極楽往生させていただける、という意味です。

現代人にとって念仏とは？

いつ死ぬかわからなかった昔のひとから見ると、今日のわたしたちの暮らしはこの世の「極楽」かもしれません。病気になるれば薬があり、お腹が減れば食べるものがある。こんな便利などころにいたら、早くあの世に行きたいなどとは誰も思わないでしょう。

しかしそれでも人の世には生老病死の不安や悩みがついてまわります。悩んだときは、お念仏

一見単純なことのようですが、ここに至るまでには16年間もの遊行^{ゆぎょう}と賦算^{ふさん}、そして厳しい現実との対決がありました。

あるとき熊野の山中で一遍上人は旅の律僧と出逢います。「一念の信を起こして念仏を唱えてください」といってお札を渡そうとすると律僧から「信心が起こらないので札はお受けできない」と断られました。

悩んだ末熊野神社の本宮証誠殿に参籠すると、目の前に熊野権現^{くまのけんげん}が現れ「ひとはあなたの勧めで極楽往生するのではない、阿弥陀仏が悟りを開いたことによって往生するのだ」と告げます。「信不信を問わず」は、ここで語られた権現様の神勅で、一遍上人はそれを時宗の根本の教えとして世に広めたのです。



住職による一遍上人の木彫

が安心^{あんじん}を与えてくれます。たとえ仏様を信じていなくても、「南無阿弥陀仏」と唱えれば、阿弥陀様が極楽浄土へ導いてくれます。もともと人は阿弥陀様の慈悲のなかに生まれてくるのですから。



本尊の阿弥陀如来像

(注) 1「仏教の伝来」他説もあります。2「遊行」布教や修行のため諸國を巡り歩くこと。3「賦算」お念仏の書かれた札を配ること。4「権現」菩薩が衆生を救うため種々の姿をして権かりに現れること。5「安心」信仰により心を一ヶ所に定めて不動であること。